

市議会議員が



新



みんなの居場所 ふらっと 市

新たな交流の場！

社会福祉法人桜井の里福祉会が令和6年4月に分水地区でオープンした「みんなの居場所 ふらっと」を視察しました。世代や障害など関係なく、誰もが行きたい、寄りたい場所にしたいということです。

誰もが立ち寄られる場に

Q みんなの居場所としてのコンセプトを教えてください。

A 「話そう、あそぼう、楽しもう」の3つのコンセプトで運営している。小さいお子さんと一緒に過ごせる場所で、おもちゃも準備している。離乳食や子供の食べる軽食も持ち込み可能。ぜひ皆さんに来てほしい。

総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、産業建設常任委員会の各常任委員会で、担当している関連施設を訪れ、事業の進捗状況などを確認しました。
その様子を報告します。



期



こどもの森 市

リニューアルに期待

様々な体験活動を通じて、子供たちの豊かな感性を育むことを目的とする「こどもの森」を視察しました。「こどもの森」では子育て中の大人向けの講座も開催しています。

改修工事中はどうなる？

Q 改修工事のため12月下旬まで休館となるが、その間の活動はどうするのか。

A 休館期間中は「出張！こどもの森」としていろいろな事業を実施する予定なのでぜひ参加してほしい。

B&G海洋センター 総

現場確認！ 改修必要

1985年（昭和60年）建築、築40年を迎え、老朽化が進み、もともとテント構造であるため夏は暑く冬はとても寒い中で利用されてきました。今後敷地内に建て替えを予定しています。

利用しやすい施設に

Q トイレなどの室内環境が、いずれも不便な中での利用だったことがわかった。建て替えの概要はどうか。

A 利用団体の声も聞いた中で、プールは25メートルで6コース、幼児用プールも今よりは小さくなるが設置する。トイレの洋式化といった室内環境を改善し、利便性向上を図りたい。2026年春には新しいプールで泳いでもらいたいと考えている。

燕市役所庁舎の地震対策とヘリポート 総

安全・安心を守る庁舎

燕市役所の庁舎は、2006年3月の合併から7年後の2013年5月7日に開庁しました。屋上にはヘリポート、太陽光パネルも設置されています。建物全体に免震設計が施されており、大きく揺れるが倒壊しない構造になっています。

安全機能は万全か？

Q 屋上のヘリポートは、ヘリコプターが実際に降りたことはあるのか。地下の免震ゴムが並ぶ光景は圧巻。今年の能登半島地震では庁舎の揺れはどうだったのか。

A ヘリポートの利用はこれまでないが、24時間の活用には備えている。庁舎は免震ゴムの上に建てられているので、地上と接しておらず地震の影響を直接受けることはないが、能登半島地震では、約25センチメートル幅の揺れが記録されていた。

安



迫

まちトープ 産

賑わいの秘密に迫る

まちの中に新たな賑わいを生み出す「まちトープ」を訪ねました。「イナカくらしをより豊かに」をコンセプトに、「燕のまちで、いいモノ・コト・ヒトが集まる場所・できる場所」として3月にオープンした民設民営の誰もが使える施設です。

まちなか再生に期待！

Q どのような施設となっているのか？

A 館内は様々な施設を併設し、ランチやドリンクを提供するカフェスペースはラウンジやショップも兼ね、ドリンク一杯でPC作業などの利用もできる。さらに誰もが本棚のオーナーとなり、好きな本などを紹介できる民営図書館や学生の自習室、レンタルキッチンスペースもある。ぜひ多くの方に興味を持ってもらい、利用してほしい。

ハーヴェスト 産

自然の豊かさを知る

燕三条駅のそばに位置し、ハーブや花苗の栽培、養蜂、ガーデニング、お米づくりを行う農園です。自然の恵みを生かし、訪れる方々に豊かな体験を提供しているところです。

知



自然の魅力を伝えたい

Q どのような農園が教えてほしい。一般の方の来園も大丈夫か。

A お米や花苗、ハーブにハチミツを生産している。農業以外にも、ハーブの講習やガーデニングなど様々なイベントや講座を開催しているので、ぜひ来てほしい。